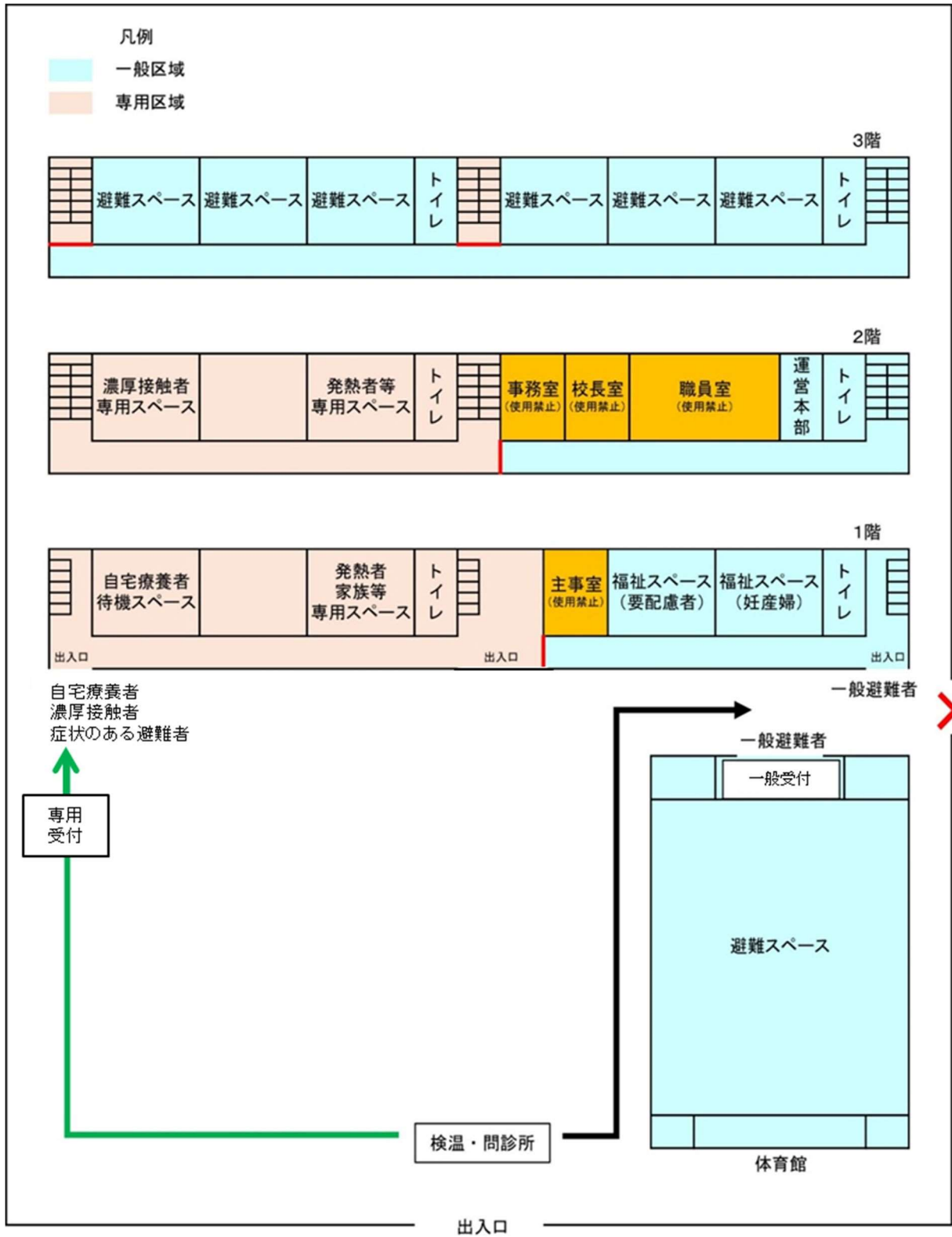
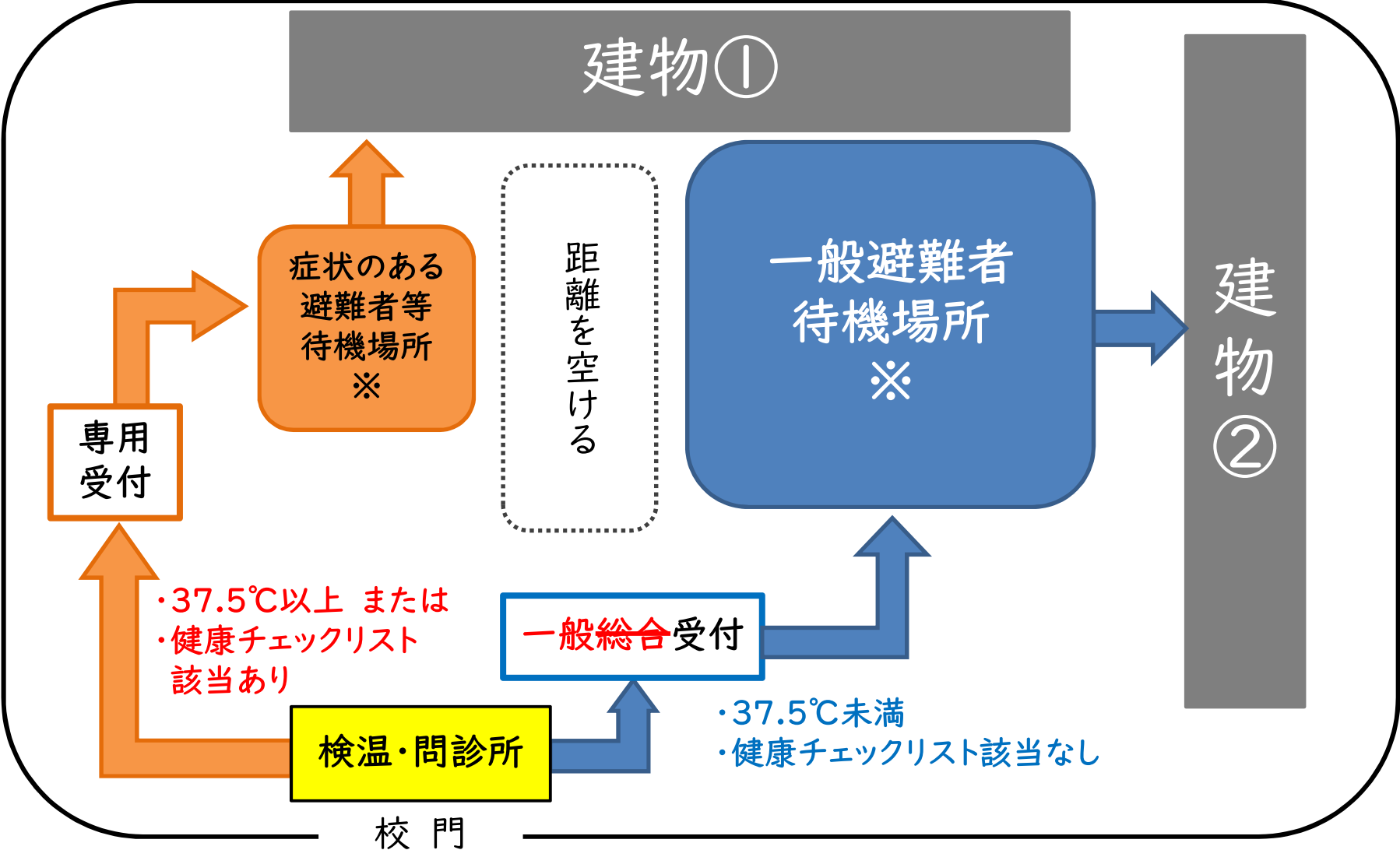


# 資料集

## ゾーニングレイアウト例



# 受付・誘導の流れ



➡ 一般避難者      ➡ 症状のある避難者等      ※ 距離を空けて待機する

## 受付対応準備リスト

## 検温・問診所

- ・用品リスト①1～5の用品を準備・装着して避難者の検温・問診を行ってください。
- ・一般避難者と症状のある避難者等の動線を分けるようにしてください。

## 【用品リスト①】

1	<input type="checkbox"/>	マスク	4	<input type="checkbox"/>	非接触型温度計（サーマルカメラ）
2	<input type="checkbox"/>	フェイスガード	5	<input type="checkbox"/>	健康チェックリスト（※資料4）
3	<input type="checkbox"/>	ビニール手袋			

## 一般受付

- ・用品リスト②6～10の用品を準備・マスクを装着して一般避難者の受付を行ってください。
- ・名簿記入で使用した筆記具や机はこまめにアルコール消毒を行ってください。

## 【用品リスト②】

6	<input type="checkbox"/>	マスク	9	<input type="checkbox"/>	筆記具
7	<input type="checkbox"/>	アルコール消毒液	10	<input type="checkbox"/>	机
8	<input type="checkbox"/>	避難者名簿			

## 専用受付

- ・症状のある避難者等への対応のため、原則区民避難所派遣職員が対応します。
- ・一般避難者と動線が交わらないよう注意し、下記用品を装着して対応します。

## 【用品リスト③】

11	<input type="checkbox"/>	マスク	15	<input type="checkbox"/>	机
12	<input type="checkbox"/>	アルコール消毒液	16	<input type="checkbox"/>	フェイスガード
13	<input type="checkbox"/>	避難者名簿	17	<input type="checkbox"/>	ビニール手袋
14	<input type="checkbox"/>	筆記具	18	<input type="checkbox"/>	ポンチョ（簡易防護服）

## 健康チェックリスト

## &lt;チェック項目&gt;

①	<input type="checkbox"/>	現在、新型コロナウイルス感染症の陽性の判定を受けていますか？
②	<input type="checkbox"/>	濃厚接触者として健康観察中ですか？
③	<input type="checkbox"/>	過去14日以内に海外から帰国し、発熱等の症状がありましたか？
④	<input type="checkbox"/>	現在の体温は、37.5度以上ですか？
⑤	<input type="checkbox"/>	高熱（37.5度以上の熱）が数日以内にありましたか？
⑥	<input type="checkbox"/>	強いだるさがありますか？
⑦	<input type="checkbox"/>	息苦しさ、咳や痰、喉の痛みはありますか？
⑧	<input type="checkbox"/>	においや味を感じにくいですか？
⑨	<input type="checkbox"/>	その他、感染したかもしれないと心配になる症状はありますか？

## &lt;ゾーニングの目安&gt;

ゾーン	状態	判断基準	対応
A	自宅療養者	チェックリスト①にチェックがついた人	暫定的に専用のゾーンへ案内する。 移動など、その後の対応について災害対策本部（保健衛生部）に支援要請する。
B	濃厚接触者	②にチェックがついた人	
C	症状のある避難者	③～⑨で一つでもチェックがついた人	
D	一般避難者	何もチェックがつかなかった人	一般避難者用のゾーンに案内する。

（出典：「新型コロナウイルス 避難生活お役立ちサポートブック」認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 令和2年5月11日発行 を基に品川区が一部改変）

避難所での感染症拡大防止にご協力をお願いします

# ① 避難者 検温・問診所

検温・問診後、

- 一般避難者の方は、②避難者名簿記入に進んでください。
- 濃厚接触者・発熱等のある方は、専用スペースに案内します。

# 感染症予防のため 避難所内では マスクを着用



こちらで **手指消毒** をして、

## ②避難者名簿記入

にお進みください。





間隔を2 m程度空けて、順番にご記入ください。

# ② 避難者 名簿記入

- 筆記具を持参している方は、お持ちのものをご使用ください。
- カード記入後は、③避難者受付にご提出ください。

順次案内します。間隔を2 m程度空けてお待ちください。

# ③ 一般受付

(避難スペースを指定します)

- 妊婦や障害者など配慮が必要な方は、お申し出ください。

順次案内します。間隔を2 m程度空けてお待ちください。

# ③ 専用受付

(避難スペースを指定します)

- 妊婦や障害者など配慮が必要な方は、お申し出ください。

感染予防にご協力をお願いします

施設内は**土足禁止**

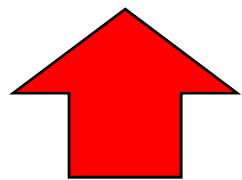


ここで室内履きに、履き替えてください。  
靴はビニール袋に入れて、お持ちください。

感染予防にご協力をお願いします

入室時はここで  
手指消毒をしましょう





ここから先



資料5 表示

専用区域

関係者以外 立入禁止

ここから先 専用区域

自宅療養者待機スペース  
出入口  
(ゾーンA)

ここから先 専用区域

濃厚接触者専用スペース  
出入口  
(ゾーンB)



# ここから先 専用区域

症状のある避難者専用スペース

出入口

(ゾーンC)

# ゾーンA

自宅療養者  
専用スペース

# ゾーンB

濃厚接触者  
専用スペース

# ゾーンC

症状のある避難者  
専用スペース

# ゾーンA

自宅療養者  
専用トイレ

(自宅療養者以外は使用禁止)

# ゾーンB

濃厚接触者  
専用トイレ

(濃厚接触者以外は使用禁止)

# ゾーンC

# 症状のある避難者 専用トイレ

(症状のある避難者以外は使用禁止)

# ゾーンA

# 自宅療養者 専用階段

(自宅療養者以外は使用禁止)



## ゾーンB

# 濃厚接触者 専用階段

(濃厚接触者以外は使用禁止)

# ゾーンC

# 症状のある避難者 専用階段

(症状のある避難者以外は使用禁止)

# ゾーンA

自宅療養者ゾーン

ここまで

この先 立入禁止

# ゾーンB

濃厚接触者ゾーン

ここまでは

この先 **立入禁止**

# ゾーンC

症状のある避難者ゾーン

ここまでは

この先 **立入禁止**

# て あら 手洗いは

# しょく ちゅう どく かん せん しょう よ ぼう 食中毒・感染症予防のキホンです

資料5 表示物

## みず つか ば あい て あら て じゆん 水が使える場合の手洗いの手順

1 りゆうすい て あら せつ  
流水で手を洗い、石けんをつける。



て  
手のひら



て こう  
手の甲



ゆびさき つめ あいだ  
指先・爪の間



ゆび あいだ  
指の間



おやゆび て つつ あら  
親指(手のひらで包んでねじり洗い)



て くび  
手首

8 りゆうすい  
流水ですすぎ、ペーパータオルや  
せいけつ すい ぶん ふ と  
清潔なタオルで水分を拭き取る。  
(すい ぶん のこ しょうどくこう か へ  
水分が残っていると消毒効果が減る)

9 じゅうぶん りょう しょうどくざい て  
十分な量の消毒剤を手のひらにとり、  
②～⑦の順で手全体によくすりこんで、  
自然にかわかす。



## みず つか 水が使えないときは・・・

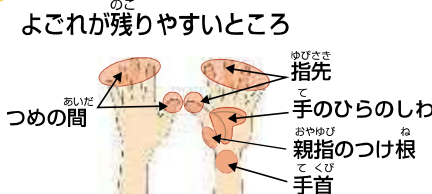
1 おしぼりやウェットティッシュ  
で、汚れをよく落とす。



2 じゅうぶん りょう しょうどくざい て  
十分な量の消毒剤を手  
のひらにとり、手洗い  
②～⑦の順で手全体に  
よくすりこんで、自然  
にかわかす。



### て あら 手洗いの ポイント



### て ふき よう 手ふき用タオル



# 塩素系消毒液の作り方マニュアル

## (次亜塩素酸ナトリウム液)

塩素系消毒液は塩素系漂白剤等を希釈して作ります。  
 塩素系消毒液は使い方を間違えると効果がなくなるだけでなく、思わぬ事故につながる可能性があります。用途に応じた希釈や使用、保管時の注意事項を守りましょう。

※ ハイター、ブリーチ、ブライト、ピューラックス、ジアノックなど

### 希釈方法

動画で見たいときは  
こちらから



#### おう吐物、ふん便の処理時 希釈後の濃度 約0.1%

原液濃度 5～6%の場合

500mlのペットボトル1本の水に  
原液 10ml (ペットボトルのキャップ2杯)



2リットルのペットボトル1本の水に  
原液 40ml (ペットボトルのキャップ8杯)



#### 調理器具、トイレのドアノブ、便座、衣類等の消毒 希釈後の濃度 約0.02%

原液濃度 5～6%の場合

2リットルのペットボトル1本の水に  
原液 10ml (ペットボトルのキャップ2杯)



### 使用するときの注意事項

- ・手指の消毒には絶対に使用しないでください。
- ・使用する際は十分に換気してください。
- ・有毒ガスが発生するため、酸と混ぜて使用しないでください。
- ・汚れが残ったまま使用すると効果が弱まります。できるだけ汚れを落としてから使用してください。
- ・漂白作用があります。容器の「使用上の注意」を確認してください。
- ・商品により塩素濃度が異なるので表示などを確認してください。

### 保管するときの注意事項

- ・希釈液をペットボトルで保管するときは、誤飲しないよう、容器に目立つように薬品名や濃度、希釈日を記入しておきましょう。
- ・原液、希釈液ともに、直射日光の当たらない場所で保管しましょう。
- ・危険なので子供などの手の届かないところに保管しましょう。
- ・希釈したものは時間が経つと効果が減っていくので、できるだけすぐに使い切りましょう。



# トイレ清掃マニュアル



トイレが不衛生だと、感染症のまん延が懸念されるだけでなく、衛生上の問題（トイレ以外の場所がトイレとして使用される）などが発生するおそれがあります。トイレは定期的に清掃し、清潔に保ちましょう。

## 用意するもの

- ・使い捨て手袋
- ・ゴム手袋
- ・使い捨てマスク
- ・使い捨てエプロン
- ・塩素系消毒液※  
(塩素系漂白剤等を希釈)
- ・バケツ
- ・雑巾(拭くもの)
- ・新聞紙
- ・ほうき
- ・ちりとり
- ・モップ
- ・便器用ブラシ
- ・トイレ用洗剤
- ・ゴミ袋



※ハイター、ブリーチ、ブライト、ピューラックス、ジアノックなど

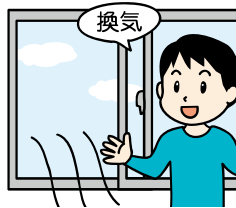
- 1** マスクと使い捨て手袋を着用する。  
(塩素系消毒液やトイレ用洗剤の原液、ブラシなどを用いる際には、厚手のゴム手袋が望ましい。)



- 6** 塩素系消毒液(0.02%)に浸して絞った布等で、汚れの少ない方から順に拭く。  
(手洗い器→タンク→フタ→便座→便器の外側)



- 2** トイレのドアや窓を開け、換気する。



- 7** 塩素系消毒液(0.02%)に浸したモップでトイレ全体の床を拭く。



- 3** バケツに水を入れ、塩素系消毒液(0.02%)を作る(資料8)。



- 8** 便器の内側は、汚れがあれば便器用ブラシで擦り落とす。その後、トイレ用洗剤の原液をかけ、2～3分後にこすらずに水で流す。



- 4** トイレ内の備品(ゴミ箱、サニタリーボックス等)を外に出し、ほうきで床をはく。汚物があった場合は、新聞紙等で汚染を広げないようにふき取る。



- 9** 清掃用具を片付ける。繰り返し使うものは、洗浄し、塩素系消毒液(0.02%)に30分～60分浸して消毒する。(汚物に直接接触した用具は塩素系消毒液(0.1%)で消毒する。)



- 5** 塩素系消毒液(0.02%)に浸して絞った布等で、手の触れる部分を拭く。  
(水道の取っ手→ドアノブ→手すり→水洗レバー→ペーパーホルダー)



- 10** 清掃が終わったら、手袋を外して手を洗い、乾燥後、手指を消毒する。  
(資料11、多言語版：資料12)



**トイレの清掃作業に従事した後は、調理作業は避けてください。**